

コンクリート改質剤 アルカリ付与・下地強化剤

アルカードKL

アルカードKLは、中性化の進んだコンクリートに含浸させてアルカリを付与し、鉄筋の錆進行を抑止すると共に、劣化したコンクリートの表面強度を向上させ、補修モルタルとコンクリート界面からの剥離を防止します。

特 長

- ▶ 強アルカリであるリチウムが、中性化したコンクリート内部まで浸透し、アルカリを付与します。
- ▶ 低粘度珪酸リチウム水溶液であるため、浸透性に優れています。
- ▶ コンクリート中の気孔や毛細管に浸透したアルカードKLが反応硬化し、結合材として作用するため、コンクリート表面付近の強度を向上させます。

用 途

- コンクリートが中性化し、鉄筋の腐食進行が想定される場合のアルカリ付与剤として
- コンクリートが劣化し、断面修復材を充填するときに、強度不足により接着が期待できない時

施工要領

① 下地処理

著しい劣化部、浮き部、浸透を妨げるコンクリート表面の付着物を除去する。除去後はコンクリートを**乾燥状態**にする。

② 塗 布

標準塗布量(g/m ²)	300
--------------------------	-----

ハケまたはローラーで、規定量をむらなく塗布する。塗布は2回塗りとし、2回目は1回目の液の浸透を確認後、連続して行う。断面修復を行う場合、液が浸透せず流れ落ちるようになった時は、接着不良を生じる可能性があるので、塗布を中止する。

※アルカードKLを塗布後、コンクリート表面に固化層や白い粉化を生じた場合は、上塗材の接着不良を生じることがあります。
また、既に亜硝酸塩系防錆剤が塗られている場合は、アルカードKLの塗布により表面が白色化することがあります。
また、エポキシ系下地強化剤等の浸透性物質が塗られている場合は、アルカードKLが浸透することを確認して下さい。浸透しない場合は、表面で固化し、接着不良の原因になることがあります。
また、珪酸リチウム塗布により、コンクリートに残存する酸の種類によっては表面が白色化することがあります。この場合は使用できません。
これらの確認のため、事前に試験塗布を行うことをお奨めします。

③ 養 生

塗布後20～24時間以上養生する。

● 荷 姿



18kg缶



4kgポリ容器

性 能

●性状

試 験 項 目	試 験 結 果	規 格 値	試 験 方 法
外 観	透明	透明	目 視
粘度 (mPa・s)	2.3	10以下	JIS K 6833
比 重	1.10	1.08～ 1.12	JIS K 0061
P H	11.1	10.5 ～ 11.5	JIS Z 8802

●引張試験結果

〈試験方法〉

劣化コンクリートの表面をタワシを用いて洗浄し乾燥後、アルカードKLを300g/m²塗布含浸させ、3日後、無塗布部位との引張強度比較を建研式接着試験により行った。

	1	2	3	平均
アルカードKL含浸	1.6	1.9	1.8	1.8
無塗布	0.9	0.8	0.9	0.9

(N/mm²)

●圧縮試験結果

〈試験方法〉

S/C=4の低強度モルタルを用い40×40×40mmの圧縮強度測定用試験体を作製し、1日気中養生後60℃で24時間強制乾燥した。冷却後、試験体をアルカードKL中に1日浸漬、含浸処理し、3日後、未処理試験体との圧縮強度比較を行った。

	1	2	3	平均
アルカードKL含浸	15.6	14.4	12.5	14.2
無塗布	7.5	8.1	9.4	8.3

(N/mm²)

●使用上の注意

- ・ご使用に際してはSDS（安全データシート）をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・取り扱い時は、ゴム手袋、防護眼鏡、長袖シャツ、マスク等を着用し、眼や皮膚に付着しないように注意して下さい。
- ・凍結しないように0℃以上で保管して下さい。
- ・本製品は空気中の二酸化炭素と反応しゲル化することがありますので、使用後は密栓し早めに使い切して下さい。ゲル化したものは使えません。
- ・フェノールフタレイン指示薬にて塗布後の効果を確認する場合、指示薬はフェノールフタレイン濃度10g/ℓ、エタノール濃度85vol%のものをご使用下さい。また降雨等のない塗布後24時間以内に確認を行って下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。河川や湖沼、下水等へ廃棄しないで下さい。
- ・**アルカード（またはアルカード40）塗布後にアルカードKLを上塗りすると、反応が起こり生成物により表面が白色化します。また、反応により期待する効果が得られない可能性があります。**
他の亜硝酸塩系防錆剤に上塗りする場合も同様の現象が考えられますので、試験等により確認した後にご検討下さい。

●本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

● 本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大分県大分市三川新町 1 - 2 - 2 3	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● い わ き 工 場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平 30 - 3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大 阪 支 店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原 5 - 1 - 3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福 岡 支 店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤 1 - 9 - 10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関 東 支 店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央 2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙 台 支 店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町 6 - 2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南 3 - 5 - 21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂 5 条 3 - 2 - 32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島 1 - 10 - 23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原 743 - 1 - 1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北 陸 営 業 所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町 2 - 11 - 25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 広 島 営 業 所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合 2 - 41 - 22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山 2 - 14 - 47	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
● 鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原 1 - 51 - 25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜 5 2 2 6 - 1 3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町 1 4 5 0 - 6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230